



松山市民病院 病児保育 アイビー通信



第17号 令和4年9月 発行

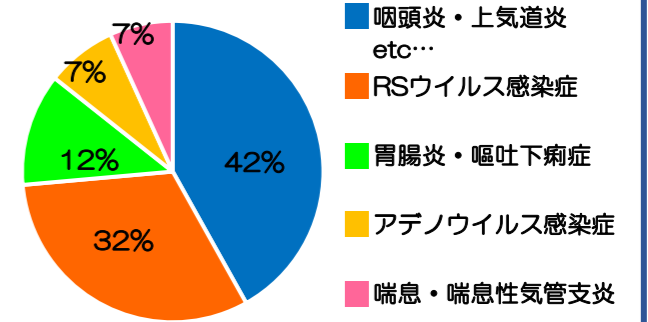
少しずつ秋の涼しさを感じる季節となりました。この時期は、朝晩の気温差が激しく夏の疲れが出やすくなります。衣服や寝具の調節をしたり、生活リズムを整えながら健康管理に気を付けていきましょう。



利用状況(R4.6~R4.8) 延べ274人

疾患別では、咽頭炎・上気道炎が111人、RSウイルス感染症が84人、胃腸炎・嘔吐下痢症が32人、アデノウイルス感染症が20人、喘息・喘息性気管支炎が18人、年齢別では1歳児の利用が最も多く140人でした。

前回(R4.3~R4.5)に引き続き、RSウイルス感染症と胃腸炎・嘔吐下痢の症状で利用されるお子さんが多くいました。



アトピー性皮膚炎とは

小児科 有元医師より



痒みのある湿疹が慢性的に良くなったり悪くなったりを繰り返す病気です。皮膚は大切なバリアであり、乳児のアトピー性皮膚炎はその後の食物アレルギーや喘息の発症のリスクにもなるため早期治療が大切です。気になる場合は小児科や皮膚科で相談しましょう。



- ① 薬物療法
- ② スキンケア
- ③ 悪化要因の対策の3つが治療の基本です



① 薬物療法

ステロイド外用薬：炎症を抑える塗り薬
皮膚の状態に合わせて処方されます。

★塗り方の注意点

薄くのばしたり擦り込むように塗ったりすると表面の肝心な部分には十分に薬が付きません。たっぷり皮膚に乗せるように塗ってください。

② スキンケア

よく泡立てた石鹸を使用してもむように洗います。
特に洗い残しの多い耳の裏、首、脇、関節部はしわを伸ばして丁寧に洗い、よくすすぎましょう。
軽く押さえて水分を拭いたらすぐ保湿剤を使用します。

③ 悪化要因の対策

ダニ、ハウスダスト、カビ、ペットなどのアレルゲンを減らすために環境を整えましょう。
布団→よく乾燥させて干した後は掃除機をかける
ぬいぐるみ→不要なものは処分、こまめに洗濯
カーペット→掃除、撤去
タバコ→禁煙 様々な病気のリスクが上がります

看護師より

入浴&スキンケアのポイント

痒みは体が温まると強くなりますので、あたたかすぎないようにしましょう

- ・お風呂は湯船に入らず、ぬるめに設定したシャワーを浴びる
- ・入浴後、保湿剤やステロイド外用薬をぬる
- ・どうしても痒い部分は冷やします
- ・化学繊維の下着などチクチクする素材の服から綿の下着に変える

以上のことなど工夫をしてみましょう

「つるつる、すべすべ」の状態を目指して、アトピー性皮膚炎でない方もお子さんの繊細な肌のために、スキンケアや生活環境を見直してみてもいいかもしれません。

9月1日は防災の日

アイビーでは災害及び非常時の対策・対応について定期的に話し合い、避難行動の確認を行っています。

※アイビーの避難場所は松山市民病院南棟1F 総合受付前です。
避難場所を変更した時は園舎正面玄関に移動先を掲示します。

初めてお預かりするときに、少しでも時間を短縮するために、事前登録をおすすめします。

受付時間 平日 8:00~18:00

何かご不明な点がございましたらお気軽にお問い合わせください。

登録時に必要な物

- ・児童票 (HPからダウンロードできます)
- ・母子手帳
- ・除去食品指導表 (食物アレルギーのある方)

〒790-0067

松山市大手町2丁目1-3

松山市民病院 病児保育アイビー

Tell 089-968-1319 (直通)

